

チェコ

2022年10月14日
海外調査部・プラハ事務所

2021年の貿易は、輸出入ともに過去最高額を記録し、輸出が前年比14.3%増、輸入が19.7%増となった。最大の輸出品目である機械類・輸送用機器のうち電気機器が21.4%増と堅調な伸びを示し、輸出増に寄与した。2021年の外国直接投資額は、対外投資が前年から約80%増大した。対日貿易は輸出が52.5%増、輸入が42.7%増と好調だった。日本からの投資は9年ぶりの引き揚げ超過となった。

■輸出入ともに過去最高額を更新

2021年の貿易は、輸出が前年比14.3%増の1,921億1,700万ユーロ、輸入が19.7%増の1,795億6,800万ユーロとなり、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け経済活動が縮小し、輸出入ともに減少した2020年から大幅に増加、1993年の共和国独立以降の最高額を更新した。貿易収支は125億4,900万ユーロの黒字だったが、過去最高の黒字額だった前年から30.7%減少した。

輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械類・輸送用機器（構成比55.7%）が前年比8.7%増となった。このうち電気機器（10.5%）の21.4%増、道路走行車（部品を含む。17.9%）の8.8%増が品目全体を牽引した。また、原料別製品（14.8%）が22.0%増加し、輸出全体の増加に貢献した。

輸出を国・地域別にみると、全体の約8割を占めるEU（構成比80.1%）が前年比15.2%増となった。最大輸出先のドイツ（32.4%）は13.3%増だった。同国向けの最大輸出品目である道路走行車（16.5%）が1.8%減と減少したが、

電気機器（12.3%）が19.9%増、電気回路（1.3%）が4.6倍となり、全体の輸出額を引きあげた。ドイツに次いで輸出額が大きいスロバキア（8.1%）は21.3%増と大幅な伸びを示した。電力（6.9%）の2.3倍、鉄・鉄鋼（4.7%）の69.6%増が牽引した。同国は電力の最大輸出先となっている。EU域外では米国（2.4%）が15.3%増と好調な伸びをみせた。電気機器（11.2%）と特殊産業機械（7.3%）、ゴム製品（4.5%）がそれぞれ19.2%増、69.8%増、37.1%増

表1 チェコの主要品目別輸出入

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	98,486	107,096	55.7	8.7	74,651	83,205	46.3	11.5
道路走行車	31,622	34,414	17.9	8.8	13,664	15,667	8.7	14.7
電気機器	16,601	20,152	10.5	21.4	17,092	21,029	11.7	23.0
事務機器	14,576	14,748	7.7	1.2	12,542	13,694	7.6	9.2
通信・録音機器	14,216	13,549	7.1	△ 4.7	14,013	13,015	7.2	△ 7.1
一般産業機械・設備	11,394	12,738	6.6	11.8	7,715	8,923	5.0	15.7
原料別製品	23,308	28,435	14.8	22.0	22,207	28,586	15.9	28.7
金属製品	7,547	9,027	4.7	19.6	5,688	6,661	3.7	17.1
鉄、鉄鋼	3,602	5,202	2.7	44.4	5,122	7,976	4.4	55.7
非鉄金属	955	1,320	0.7	38.3	2,893	4,223	14.8	46.0
雑製品	20,792	23,489	12.2	13.0	17,775	20,560	11.4	15.7
家具	3,537	3,832	2.0	8.3	2,549	2,973	1.7	16.6
玩具、スポーツ用品 (SITC 3)	3,309	3,793	2.0	14.6	1,658	1,861	1.0	12.2
専門、科学、検査器具	2,996	3,484	1.8	16.3	2,679	3,122	1.7	16.5
プラスチック製品 (SITC 3)	2,482	2,892	1.5	16.5	2,714	3,173	1.8	16.9
衣類・服飾	2,134	2,568	1.3	20.3	3,013	3,532	2.0	17.2
化学製品	11,599	14,232	7.4	22.7	17,706	22,145	12.3	25.1
食料品・生きた動物	5,809	6,564	3.4	13.0	7,374	8,007	4.5	8.6
食料に適さない原材料	3,528	5,151	2.7	46.0	2,834	4,024	2.2	42.0
鉱物性燃料	2,107	4,430	2.3	110.2	5,380	10,366	5.8	92.7
飲料・たばこ	1,492	1,296	0.7	△ 13.1	1,104	1,273	0.7	15.3
動植物性油脂	340	428	0.2	25.8	254	355	0.2	39.9
合計 (その他含む)	168,118	192,117	100.0	14.3	150,000	179,568	100.0	19.7

(注) EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
(出所) チェコ統計局

と拡大した。一方、ロシア(1.9%)は、最大輸出品目である道路走行車(18.6%)が17.1%減少したことを受け、同国向け輸出額は2.6%減少した。

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である機械類・輸送用機器(構成比46.3%)が前年比11.5%増となった。特に電気機器(11.7%)が23.0%増、道路走行車(8.7%)が14.7%増と2桁の伸びを記録している。原料別製品(15.9%)も好調で、鉄・鉄鋼(4.4%)が55.7%増、非鉄金属(14.8%)が46.0%増の大幅な伸びを示した結果、28.7%増となった。また、価格高騰の影響を受け、石油・石油製品(3.1%)とガス(1.7%)がそれぞれ59.5%増、3.1倍と大幅に増加したことを反映し、鉱物性燃料(5.8%)が92.7%増と増大した。

輸入を国・地域別にみると、全体の約6割を占めるEU(構成比58.6%)は前年比18.4%増だった。最大の輸入元であるドイツ(22.1%)は13.5%増だった。同国からの最大輸入品目である道路走行車(12.6%)は8.2%増にとどまった一方で、これに次ぐ電気機器(11.5%)が32.9%増、鉄・鉄鋼(4.3%)が42.2%増、石油・石油製品(3.1%)が65.2%増と大幅に増え、輸入額全体に貢献した。このほかポーランド(8.2%)、スロバキア(4.5%)、イタリア(4.2%)もそれぞれ23.9%増、30.1%増、24.7%増と大幅に伸びた。EU域外では、ドイツに次いで輸入額が大きい中国(16.7%)が10.8%増だった。同国からの最大輸入品目である通信・録音機器(28.4%)は11.3%減と落ち込んだものの、これに次ぐ事務機器(27.9%)が14.6%増、電気機器(14.4%)が38.3%増となり、全体の輸入額を引き上げた。なお、対中貿易赤字額は前年の248億700万ユーロから274億6,800万ユーロに増大し、依然として中国が最大貿易赤字相手国となっている。このほかロシア(3.3%)はガス(50.0%)が4.2倍に増えたほか、石油・石油製品(25.1%)が75.0%増と大幅に増加した結果、全体で2.3倍に増大した。

2022年上半期の貿易は、輸出が前年同期比15.6%増、輸入が24.2%増と好調を維持している。輸入額の増加は、主に天然ガス、原油の輸入価格高騰によるものである。特に天然ガスは前年同期比4.9倍となった。道路走行車の輸出は2.5%増にとどまったが、ロシアのウクライナ侵攻による部品の供給不足などの影響を受けて1~4月は低調だった乗用車の国内生産台数が、5月以降サプライチェーンの改善とともに急増し、前年同月を上回るペースで推移している。道路走行車の輸入は5.1%増と

表2 チェコの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	133,615	153,917	80.1	15.2	88,886	105,245	58.6	18.4
ユーロ圏	108,908	124,935	65.0	14.7	68,100	80,122	44.6	17.7
ドイツ	54,888	62,191	32.4	13.3	34,953	39,678	22.1	13.5
スロバキア	12,797	15,520	8.1	21.3	6,149	8,000	4.5	30.1
フランス	7,882	8,856	4.6	12.3	4,361	5,108	2.8	17.1
オーストリア	6,978	8,586	4.5	23.0	4,023	5,041	2.8	25.3
イタリア	6,472	7,423	3.9	14.7	6,075	7,579	4.2	24.7
オランダ	6,862	7,055	3.7	2.8	4,362	4,619	2.6	5.9
非ユーロ圏	24,708	28,981	15.1	17.3	20,786	25,122	14.0	20.9
ポーランド	10,488	12,933	6.7	23.3	11,816	14,644	8.2	23.9
ハンガリー	5,554	6,347	3.3	14.3	3,882	4,553	2.5	17.3
スウェーデン	2,748	3,237	1.7	17.8	1,133	1,389	0.8	22.6
ルーマニア	2,620	2,895	1.5	10.5	2,002	2,408	1.3	20.3
英国	6,794	7,364	3.8	8.4	2,511	2,773	1.5	10.4
ロシア	3,746	3,650	1.9	△2.6	2,572	5,929	3.3	130.6
アジア大洋州	6,118	7,179	3.7	17.3	40,948	46,484	25.9	13.5
中国	2,276	2,538	1.3	11.5	27,083	30,006	16.7	10.8
日本	790	1,204	0.6	52.5	2,524	3,601	2.0	42.7
インド	488	759	0.4	55.4	870	1,029	0.6	18.2
オーストラリア	414	512	0.3	23.6	99	122	0.1	22.2
韓国	466	473	0.2	1.5	3,434	3,778	2.1	10.0
ASEAN	1,021	1,011	0.5	△0.9	5,704	6,513	3.6	14.2
米国	3,948	4,553	2.4	15.3	3,771	4,405	2.5	16.8
中東	4,044	4,202	2.2	3.9	1,927	2,565	1.4	33.1
トルコ	2,037	1,992	1.0	△2.2	1,503	2,045	1.1	36.0
アフリカ	1,647	2,058	1.1	25.0	1,229	1,625	0.9	32.2
メキシコ	780	660	0.3	△15.4	793	884	0.5	11.4
ブラジル	279	345	0.2	23.4	185	193	0.1	4.2
合計(その他含む)	168,118	192,117	100.0	14.3	150,000	179,568	100.0	19.7

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア大洋州は、ASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港、台湾を加えた合計値。

[出所] チェコ統計局

なった。通信・録音機器は輸出が31.9%増、輸入が42.7%増と輸出入ともに大幅に伸長した。

■対内投資は減少、対外投資は大幅増

チェコ国立銀行によると、2021年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比40.6%減の49億800万ユーロだった。業種別でみると、全体の56.5%を占めるサービス業が52.3%減の27億7,400万ユーロにとどまった。そのうち、金融・保険が11億200万ユーロと約4割を占めたが、61.1%減と大きく前年を下回った。一方、同じく約4割を占めた小売・卸売、自動車修理が11億4,700万ユーロと、前年の2.6倍になる大幅な伸びを示した。これにはポーランドの電子商取引（EC）大手アレグロによる2021年11月のチェコのモール・グループおよび運輸会社ウィー・ドゥーの計8億8,100万ユーロの買収案件が寄与したものとみられる。また、チェコ食品ネット販売大手ロフリース・グループは未公開株の売却により、3月にはフランスの投資会社パルテクを中心とする投資グループより1億9,000万ユーロを資金調達、さらに7月には英国の投資会社インデックス・ベンチャーズを中心とする投資グループより1億ユーロを資金調達した。製造業への投資額は18億2,400万ユーロで、3.9%減にとどまった。化学分野向けが9億7,600万ユーロと最大で、主な投資案件としては、ポーランドの石油最大手PKNオレンが10月に7億コルナ（約38億5,000万円、1コルナ=約5.5円）を投じたチェコ子会社・ユニペトルのエチレン生産ライン増設が挙げられる。また化学分野に続く卑金属、金属製品分野への投資額は7億7,500万ユーロとなり、米国の飲料缶製造大手ボールによる1月のアル

表3 チェコの業種別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2020年	2021年		2020年	2021年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
製造業	1,898	1,824	△ 3.9	392	305	△ 22.2
石油、化学、医薬、ゴム、プラスチック製品	△ 77	976	-	△ 54	51	-
卑金属、金属製品	510	775	51.8	70	157	124.2
食品、飲料、タバコ製品	53	201	△ 67.8	45	33	△ 26.2
コンピュータ、電子・光学製品	605	195	△ 67.8	5	7	38.8
機械・設備	44	142	219.9	157	14	△ 90.9
木材、製紙、印刷	250	134	△ 46.3	n.a.	11	-
自動車	△ 97	△ 309	-	△ 103	86	-
サービス業	5,812	2,774	△ 52.3	2,859	4,625	61.8
小売・卸売、自動車修理	441	1,147	159.9	678	147	△ 78.3
金融・保険	2,834	1,102	△ 61.1	547	2,974	443.4
情報・通信	△ 69	429	-	200	103	△ 48.5
運輸・倉庫	530	60	△ 88.8	4	△ 19	-
不動産	1,769	52	△ 97.0	1,741	939	△ 46.1
専門・科学・技術	102	3	△ 97.5	△ 645	427	-
宿泊・飲食サービス	45	△ 44	-	64	△ 1	-
電気・ガス等供給	△ 198	301	-	△ 415	△ 392	-
農林水産業	62	7	△ 88.2	12	1	△ 88.3
鉱業	1	△ 27	-	20	9	△ 52.5
合計（その他含む）	8,261	4,908	△ 40.6	2,624	4,719	79.8

〔注〕2021年は暫定値。
〔出所〕チェコ国立銀行

表4 チェコの国・地域別対内・対外直接投資＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2020年	2021年		2020年	2021年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU	6,076	4,356	△ 28.3	2,320	2,772	19.5
ユーロ圏	5,202	3,912	△ 24.8	2,139	2,762	29.1
ルクセンブルク	766	1,270	65.7	1,062	846	△ 20.3
オランダ	313	655	109.2	△ 284	716	-
キプロス	1,266	558	△ 55.9	△ 183	770	-
フランス	606	518	△ 14.5	74	5	△ 93.1
スロバキア	△ 353	415	-	364	399	9.7
ベルギー	1,813	319	△ 82.4	91	27	△ 69.9
オーストリア	973	247	△ 74.6	10	18	78.0
イタリア	344	172	△ 49.9	689	447	△ 35.1
ドイツ	△ 1,201	37	-	247	△ 445	-
スペイン	72	△ 230	-	125	36	△ 71.3
非ユーロ圏	875	444	△ 49.3	181	11	△ 94.0
ハンガリー	542	206	△ 62.0	△ 154	201	-
ルーマニア	△ 183	172	-	△ 14	△ 327	-
英国	521	△ 239	-	△ 13	1,177	-
スイス	854	442	△ 48.3	202	156	△ 22.9
ロシア	11	218	1,885.5	△ 98	45	-
韓国	87	272	213.8	n.a.	n.a.	n.a.
米国	303	91	△ 70.0	△ 12	528	-
アフリカ	△ 43	35	-	86	17	△ 80.0
インド	24	13	△ 45.0	98	92	△ 5.7
香港	△ 20	△ 29	-	0	3	-
日本	92	△ 54	-	△ 1	0	-
中南米	△ 158	△ 57	-	36	25	△ 28.9
ブラジル	10	2	△ 84.8	△ 1	△ 2	-
メキシコ	12	△ 10	-	5	5	△ 11.3
中国	△ 217	△ 74	-	△ 66	△ 34	-
台湾	184	△ 210	-	0	△ 1	-
合計（その他含む）	8,261	4,908	△ 40.6	2,624	4,719	79.8

〔注〕2021年は暫定値。
〔出所〕チェコ国立銀行

ミニウム缶製造の新工場への投資額 1 億7,000万ユーロが含まれる。

対内投資を国・地域別にみると、EUからの投資は前年の60億7,600万ユーロから43億5,600万ユーロに減少した。最大の投資元はルクセンブルクで、投資額は前年から65.7%増加し、12億7,000万ユーロだった。同国からの投資例としては、アマゾン・ヨーロッパ（チェコのアマゾン・ロジスティック・プラグの親会社）による9月のチェコ東部・コイェチーン市における配送センター建設案件が挙げられる（投資額は非公表）。

2021年の対外直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は47億1,900万ユーロで、前年の26億2,400万ユーロから79.8%増と大幅に上昇した。業種別にみると、サービス業のうち、金融・保険部門への投資額が前年比5.4倍に増え、29億7,400万ユーロに達した。これには、J&T インベストメントによる2021年1月のスロバキアの投資ファンドであるサンドベルクへのプライベート・エクイティ・ファンドへの出資案件、保険会社レノミアによる9月のクロアチア同業大手フォルティウス・インター・パーテスの株式30%の買収案件などが含まれる。一方、製造業への投資は22.2%減の3億500万ユーロとなった。

対外投資を国・地域別にみると、EUへの投資は前年比19.5%増の27億7,200万ユーロとなった。EU域内の最大の投資先はルクセンブルクで、投資額は8億4,600万ユーロだった。またEU域外の最大の投資先は英国で11億7,700万ユーロだった。続いて米国への投資額は5億2,800万ユーロだった。同国への投資例としては、チェコのシアン化物製造大手ドラスロフカが2021年12月に5億2,100万ドルを投じた米ケマーズの採鉱ソリューション部門の買収や、チェコの火器製造大手チェスカー・ズブロヨフカが2月に2億2,000万ドルを投じ、さらに新規株式109万8,620株の発行による資金調達で、米コルトを100%子会社化した案件が挙げられる。

表5 チェコの主な対内直接投資案件（2021年～2022年5月）

＜M&A 以外＞					
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
飲料缶製造	ボール・コーポレーション	米国	2021年1月	1億7,000万ユーロ	アルミ缶製造工場の新規設立計画を発表。操業開始は2022年10月、最大200人を雇用の予定。
石油化学	PKN オルレン	ポーランド	2021年10月	7億コルナ	PKN オルレンの子会社オレン・ウニベトルは、今後世界的に需要増が見込まれるポリエチレン等の石油化学製品の原料となるエチレン生産設備を増設。2022年中に稼働予定。
ガラス	AGC	日本	2021年3月	6億5,000万コルナ	AGC オートモティブ・チェコ（自動車用ガラス製造）が、ヘッドアップディスプレイ用フロントガラスの生産ライン完成を発表。
繊維	帝人	日本	2021年2月	1,000万ユーロ	チェコ子会社ベネット・オートモティブにて、自動車向け成型材料の生産ラインの新設を発表。2022年秋に稼働予定。
ガラス	AGC	日本	2022年5月	2億コルナ	AGC オートモティブ・チェコ既存工場において自動化、ロボット化を行った2021年の投資額と2022年以降3年間のデジタル化・自動化への投資継続を発表。

＜M&A＞							
業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
電子商取引、運輸	モール・グループ、ウィー・ドゥー	アレグロ	ポーランド		2021年11月 2022年4月	8億8,100万ユーロ	中東欧のeコマースプラットフォーム大手のアレグロが、チェコ同業のモール・グループおよび運輸会社ウィー・ドゥーをチェコの投資企業 PPF、EC インベストメンツ、ロックアウェイ・キャピタルより買収し、完全子会社化に合意したことを発表。2022年4月に買収を完了したと発表。
食品ネット販売	ロフリーク・グループ	バルテク 他	フランスなど		2021年3月	1億9,000万ユーロ	ロフリーク・グループは、未公開株の売却により、バルテクを中心とする複数の投資会社より資金を調達したと発表。
ソフトウェア	ボヘミア・インタラクティブ・シミュレーションズ	BAE システムズ	英国		2022年3月	2億ドル	BAE システムズが、防衛部門などにおけるトレーニング・シミュレーション・ソフトウェアの開発を手掛ける、ボヘミア・インタラクティブ・シミュレーションズの買収完了を発表。
食品ネット販売	ロフリーク・グループ	インデックス・ベンチャーズ 他	米国、英国		2021年7月	1億ユーロ	ロフリーク・グループは、未公開株の売却により、インデックス・ベンチャーズを中心とする投資会社より資金を調達したと発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表6 チェコの主な対外直接投資案件 (2021年~2022年6月)

＜M&A以外＞					
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
電力	エネルギー・プロ	トルコ	2021年4月	6億ドル	トルコ国内に水力発電所「アルバラン2」を完成。同社の水力発電所としては最大規模となり、水力発電の投資額としては1989年以降最高額となった。
不動産	CTP インベスト	ポーランド	2021年2月	2億ユーロ	ポーランド国内3カ所において倉庫・物流センターの建設を2021年第1四半期に開始すると発表。
不動産	CTP インベスト	ルーマニア	2022年6月	1億6,000万ユーロ	ルーマニアのEコマース・ビジネスセンター拡張への投資を発表。2022年末までに20万平方メートルの倉庫・物流ハブをブカレストに建設予定。

＜M&A＞						
買収企業	被買収企業 (事業)			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
ドラスロフカ	化学	ケマーズ	米国	2021年12月	5億2,100万ドル	シアン化合物製造大手ドラスロフカによる、米ケマーズ社の採掘ソリューション部門の買収が完了。
チェスカー・ズプロヨフカ	銃器製造	コルト	米国	2021年2月 2021年5月	2億2,000万ドルおよび自社株109万8,620の新規発行による調達資金	チェスカー・ズプロヨフカは、2月にコルトの完全子会社化に関する契約を締結し、5月に買収完了を発表。
J&T インベストメント	投資ファンド	サンドベルグ・キャピタル	スロバキア	2021年1月	1億900万ユーロ (他機関等による出資額との合計)	プライベート・エクイティ・ファンド出資案件。サンドベルグ・キャピタルは、J&Tインベストメント、欧州投資基金、スロバキアのタトラ・バンカによる出資を受け入れたと発表。
P3ロジスティック・パークス	不動産	KKR ラウンド・ヒル・キャピタル プルサル・プロパティーズ	米国 スペイン	2021年10月	1億800万ユーロ	P3ロジスティック・パークスは、米国のKKR、ラウンド・ヒル・キャピタル、スペインのプルサル・プロパティーズの合弁会社から、マドリードとバルセロナに5カ所の倉庫・物流センターを買収したと発表。
レノミア	保険	フォルティウス・インター・パーテス	クロアチア	2021年9月	非公表	チェコの大手保険会社レノミアはクロアチア同業大手のフォルティウス・インター・パーテスの株30%を買収し、クロアチア、スロベニア、ボスニアヘルツェゴビナにビジネスを拡大することを発表。

[出所] 各社発表および報道などから作成

■対日貿易、輸出入ともに大幅増

2021年の対日輸出は前年比52.5%増の12億400万ユーロ、輸入は42.7%増の36億100万ユーロと、それぞれ大幅に増加した。対日貿易赤字額は23億9,700万ユーロで、前年の17億3,400万ユーロからさらに拡大し、依然として中国、韓国に次ぐ3番目の貿易赤字相手国となっている。

対日輸出を品目別にみると、他に分類されない品目である金のくず（構成比51.0%）が前年の2.1倍と大幅に増加した。続く機械類・輸送用機器（23.1%）は3.6%増にとどまった。これは事務機器（3.9%）が4.5倍の顕著な伸びを示し、一般産業機械・設備（6.6%）が34.4%増となったが、通信・録音機器（5.2%）の32.7%減、発電機器（1.0%）の55.2%減が相殺したためである。なお、事務機器の

表7 チェコの対日主要品目別輸出入＜通関ベース＞

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
他に分類されない品目	288	614	51.0	113.4	機械類・輸送用機器	1,658	2,175	60.4	31.2
金のくず (金を使った金属のくずを含む)	288	614	51.0	113.3	電気機器	381	599	16.6	57.3
機械類・輸送用機器	268	278	23.1	3.6	道路走行車	473	598	16.6	26.2
一般産業機械・設備	59	80	6.6	34.4	一般産業機械・設備	212	252	7.0	18.9
通信・録音機器	93	63	5.2	△32.7	発電機器	149	248	6.9	67.1
事務機器	10	47	3.9	345.8	事務機器	198	206	5.7	3.8
電気機器	38	43	3.5	13.4	化学製品	254	675	18.7	165.3
道路走行車	19	15	1.3	△21.6	化学物質・製品	137	531	14.7	287.0
雑製品	77	110	9.1	42.3	プラスチックの一次製品	25	41	1.1	63.5
専門・科学、検査器具	40	71	5.9	76.7	雑製品	387	471	13.1	21.7
化学製品	44	66	5.4	47.3	専門・科学、検査器具	177	203	5.6	14.7
原料別製品	40	54	4.5	36.7	楽器 (SITC 3)	59	80	2.2	34.9
鉄、鉄鋼	9	21	1.7	122.5	原料別製品	207	263	7.3	27.1
食料に適さない原料	29	42	3.5	45.9	金属製品	89	112	3.1	26.7
コルク、木材	24	35	2.9	45.2	食料に適さない原料	13	10	0.3	△19.8
食料品・生きた動物	43	40	3.3	△9.0	生ゴム (合成ゴム及び再生ゴムを含む)	12	9	0.3	△21.6
動物用飼料	26	21	1.8	△17.3	食料品・生きた動物	2	3	0.1	42.0
ホップ (SITC 5)	10	9	0.7	△10.9	鉱物性燃料	1	2	0.0	9.0
合計 (その他含む)	790	1,204	100.0	52.5	合計 (その他含む)	2,524	3,601	100.0	42.7

[出所] チェコ統計局

大幅増は、PC用記憶装置（メモリ）の輸出額が2,600万ユーロと前年の34.7倍に増加したことによる。

対日輸入を品目別にみると、全体の60.4%を占める機械類・輸送用機器が前年比31.2%増となった。特に電気機器（16.6%）は57.3%増と大幅に増大した。これには自動車エンジン用電気部品（4.3%）が2.2倍に増えたことなどによる。また化学製品（18.7%）の伸びが顕著で、前年の2.7倍となった。

■日系では、AGCグループが大規模投資を展開

2021年の日本からチェコへの投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は、5,400万ユーロの引き揚げ超過となり、2012年以来9年ぶりにマイナスを記録した。日系企業の個別案件をみると、AGCグループのAGCオートモティブ・チェコ（自動車用ガラス製造）が、6億5,000万コルナを投じたヘッドアップディスプレイ用フロントガラスの生産ライン完成を2021年3月に発表した。同社は既存工場内における自動化、ロボット化などに2021年に総額2億コルナを投じており、2022年以降も3年間で数千万コルナの投資を継続する予定だ。また、自動車向け複合成形材料事業において欧州展開を進める帝人が2021年2月に、2019年に完全子会社化したチェコの自動車部品メーカー、ベネット・オートモティブに約1,000万ユーロを投資して、自動車向け成型材料の生産ラインを新設する計画を発表している。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：1,052万人（2021年）			
②面積：7万8,871km ² （2020年）			
③1人当たりGDP：2万6,411米ドル（2021年）			
④実質GDP成長率（%）	3.0	△ 5.8	3.3
⑤消費者物価上昇率（%）	2.8	3.2	3.8
⑥失業率（%）	2.8	3.5	3.9
⑦貿易収支（100万ユーロ）	9,340	10,618	2,781
⑧経常収支（100万ユーロ）	748	4,394	△ 2,074
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	149,464	165,549	172,999
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	172,544	164,648	179,866
⑪為替レート（1米ドルにつき、 チェコ・コルナ、期中平均）	22.93	23.21	21.68

〔注〕①③：暫定値、⑦：財のみ、⑦⑧：国際収支ベース、⑩：2021年のみ暫定値
〔出所〕①②④⑤⑥：チェコ統計局、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：チェコ国立銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシア CIS 課

ORD@jetro.go.jp